

図表 改訂3版 対 新版 対照表
新版(改訂2版)2007年

第1部 P2Mエントリー
3部 第1章 プログラムによる戦略の 実践 3部 第2章 プログラムとプログラムマネジメント 3部 第3章 プログラムの 共通観 3部 第4章 プログラム統合マネジメント 4部 第7章 リスクマネジメント 7.プログラムリスク 4部 第10章バリューマネジメント
第2部 第1章 プロジェクトとは 第2部 第2章 プロジェクトマネジメントとは
第4部 第9章 関係性マネジメント
第4部 第5章 プロジェクト目標マネジメント 2.スコープマネジメント 第4部 第6章 プロジェクト資源マネジメント 第4部 第5章 プロジェクト目標マネジメント 3.タイムマネジメント 第4部 第5章 プロジェクト目標マネジメント 4.コストマネジメント
第4部 第7章 リスクマネジメント
第4部 第5章 プロジェクト目標マネジメント 6.品質マネジメント 第4部 第5章 プロジェクト目標マネジメント 8.引渡し管理
第4部 第11章 コミュニケーションマネジメント
第3部 第1章 プログラムによる戦略の実現 第3部 第2章 プログラムとプログラムマネジメント 第3部 第3章 プログラムの共通感 第4部 第1章 プロジェクト戦略マネジメント 第4部 第4章 プロジェクト組織マネジメント 第3部 第5章 コミュニティマネジメント 第4部 第2章 プロジェクトファイナンスマネジメント 第4部 第8章 情報マネジメント
第4部 第3章 プロジェクトシステムズマネジメント
第4部 第10章 バリューマネジメント
第1部 第7章 P2Mにおける実践力
第4部 第11章 コミュニケーションマネジメント 第3部 第5章 コミュニティマネジメント

- プログラム・プロジェクトマネジメントを支える主要な知識を新たに追加し、事業経営基盤(第4部)、知識基盤(第5部)、人材能力基盤(第6部)に整理した。
- 第2部プログラムマネジメントは統合マネジメントにおいてプロセス詳述し、密接に関係する、戦略、リスク、価値評価の各マネジメントの相互関係を記述した。

改訂3版 2014年

第1部 P2Mの概要と特徴
第2部 プログラムマネジメント
第1章 プログラムとプログラムマネジメント 第2章 プログラム統合マネジメント 第3章 プログラム戦略とリスクマネジメント 第4章 価値評価のマネジメント
第3部 プロジェクトマネジメント
第1章 プロジェクトとプロジェクトマネジメント 第2章 統合マネジメント 第3章 ステークホルダーマネジメント 第4章 スコープマネジメント 第5章 資源マネジメント 第6章 タイムマネジメント 第7章 コストマネジメント 第8章 リスクマネジメント 第9章 品質マネジメント 第10章 調達マネジメント 第11章 コミュニケーションマネジメント
第4部 事業経営基盤
序章 戦略とその策定 第1章 事業とプログラム 第2章 プログラム戦略手法
第3章 プロジェクト組織マネジメント
第4章 会計とファイナンス 第5章 情報マネジメントと情報インフラストラクチャー
第5部 知識基盤
第1章 システムズアプローチ 第2章 知識・情報資産 第3章 価値と価値評価
第6部 人材能力基盤
序章 人材能力基盤とは何か 第1章 P2Mを実践するマネジャーの実践力 第2章 プログラム・プロジェクトにおける人材能力基盤 第3章 リーダーシップ 第4章 コミュニケーション能力とコミュニティの創造 第5章 多文化対応

- 関係性マネジメント(新版4部9章)については、3部3章ステークホルダーマネジメントに加え、関連する、2部2章4節、4部2章3節に記述した。
- 第3部プロジェクトマネジメントは2012年9月に制定された「ISO201500 Guidance on project management」の体系を参考に構成を見直した。